

SOPHIA IR FORUM

「2005世界社会フォーラム」報告：何が起きているのか、新しい社会の可能性はあるか

ブラジルのポルトアレグレで 2001 年に始まった「世界社会フォーラム」は、昨年インド、ムンバイでの成功をもとに今年もポルトアレグレで開催された（1/26-1/31）。帝国主義や先進国主導の経済グローバル化・新自由主義経済への反対を掲げ、150 カ国を超える国から 13 万人以上の市民や運動団体がポルトアレグレに集まり、およそ 1500 に及ぶ大小さまざまな「フォーラム」を開催した。そこでは、反戦平和、貧困、農業、環境、ジェンダー、文化、グローバル社会に関する問題が熱心に討議された。「世界社会フォーラム」は様々な顔を持つ。その巨大さゆえに、また参加者と議題の多様性ゆえに、それが何であるのかが把握しにくい。本報告会では、各報告者の視点から何が起こっていたのかを観察し、その後フォローアップとの意見交換の場を設け、「世界社会フォーラム」の実相に迫りたい。

報告者:

秋元陽子 (ATTAC ジャパン)
土田弥生 (原水爆禁止日本協議会)
未定 (アジア太平洋平和フォーラム)
下川雅嗣 (上智大学)
野宮大志郎 (上智大学、コーディネーター)

2005年2月16日(水) 17:30—19:30

上智大学図書館

L-812

Open to the Public!

<主催>

上智大学国際関係論専攻 学内共同研究:
「グローバルスタディーズの構想」

<コンタクト> 野宮大志郎: d-nomiya@sophia.ac.jp